

令和4年度第4回「地域フォーラム」

奈良のまちづくり

令和4年11月5日(土)
宇陀市榛原総合センター

奈良県知事 荒井正吾



リニア中央新幹線、大規模広域防災拠点、
関西国際空港接続線

リニア中央新幹線「奈良市附近駅」の早期確定

15年後(2037年)のリニア中央新幹線「奈良市附近駅」の設置に向けて動きが加速しています。



車リニア中央新幹線建設促進期成同盟会パンフレットを基に作成

「経済財政運営と改革の基本方針
2022 (骨太の方針)」
(令和4年6月7日閣議決定)

「建設主体が2023年から名古屋・大阪間の環境影響評価に着手できるよう、沿線自治体と連携して、必要な指導、支援を行う。」と、具体的な手順に関する方針を明確に記載。

令和4年6月17日 岸田内閣総理大臣との懇談

岸田総理から、「来年から環境影響評価に着手できるように、駅そしてルート決定に向けて、強いリーダーシップを発揮していただければ」とのご要請を頂戴しました。



岸田総理と荒井知事と一見三重県知事との懇談

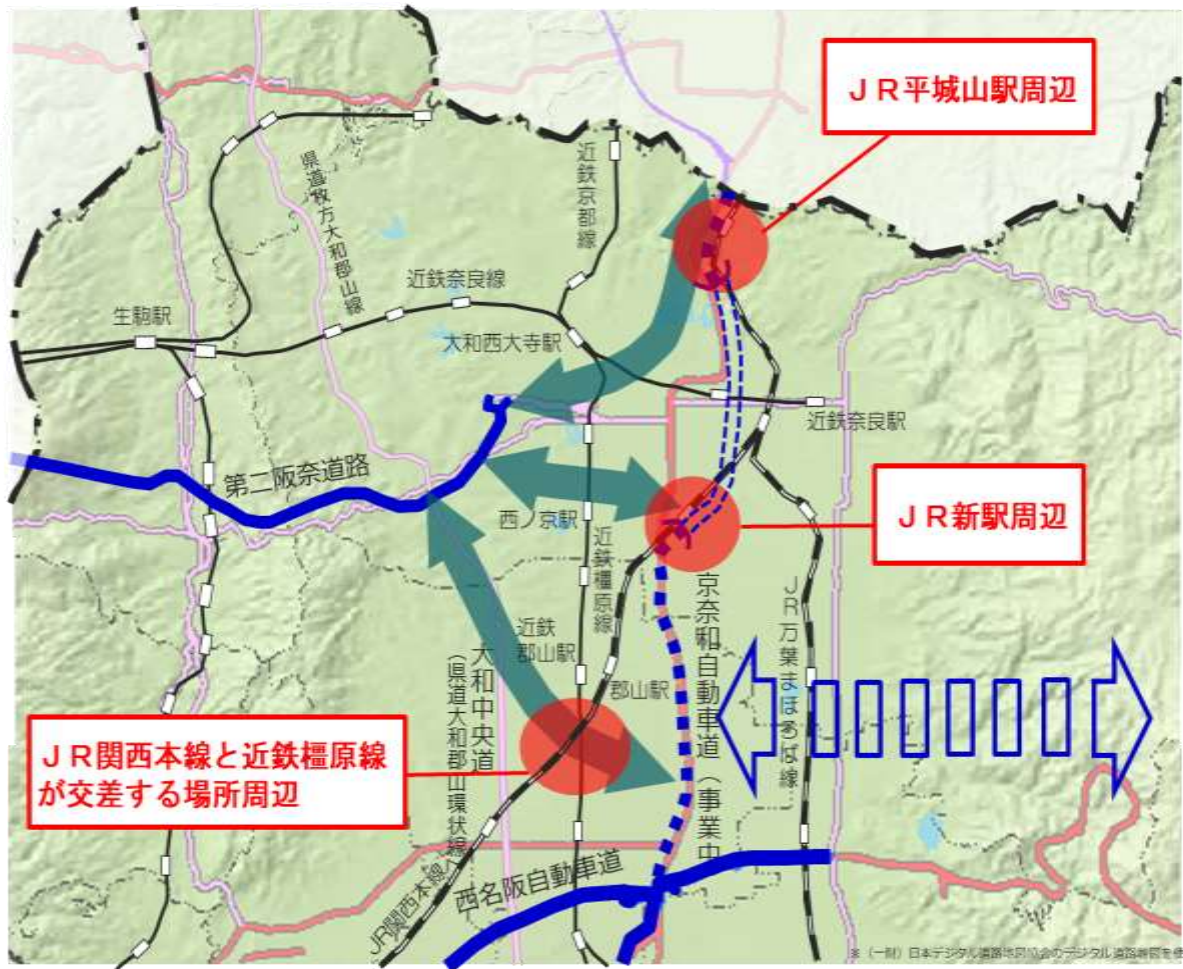
令和4年10月11日 齊藤国土交通大臣への要望

齋藤国土交通大臣へ、一見三重県知事とともに名古屋以西区間の整備促進を要望しました。



齊藤国土交通大臣へ名古屋以西区間の整備促進を一見三重県知事とともに要望

2037年(15年後)リニア中央新幹線全線開業。事実上、下記の3つが「奈良市附近駅」の重点候補です。



「奈良市附近駅」位置・リニア中央新幹線ルート決定の重要な要素	
工事に直接関わる事項	地域において大きな関心を有する事項
<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得の確実性 ・発生土活用先の確保 ・文化財・環境等の配慮を要する事項 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通結節性の確保 ・駅周辺のまちづくり ・地域全体の将来的な発展可能性

○ リニア駅への直結アクセスと県内高速道路網のボトルネックの解消



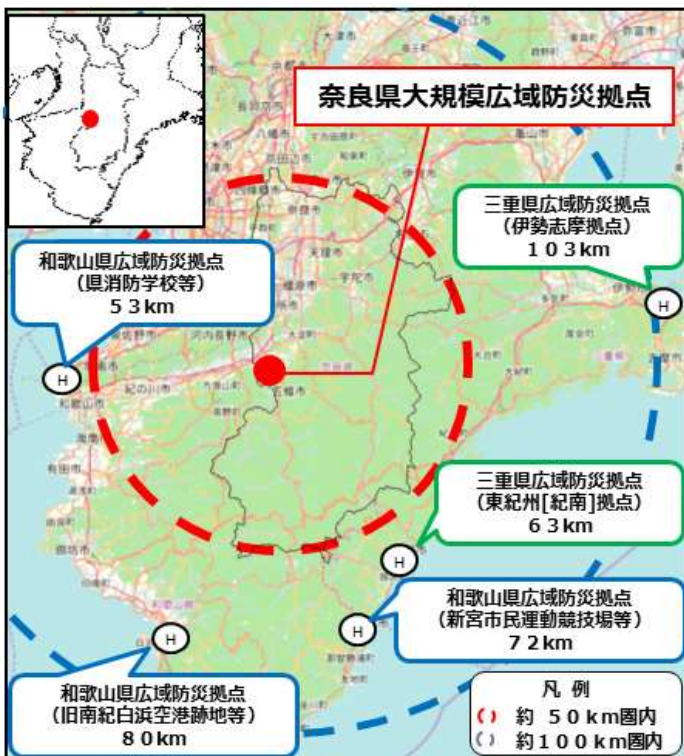
大規模広域防災拠点の整備

令和4年6月に「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」に位置づけられました。

<計画地の概要>

- 紀伊半島沿岸部の大部分が概ね100km(空路で約30分)圏内
- 紀伊半島アンカールートの結節点であり、紀伊半島沿岸部への救助救援等の活動が可能
- 近隣に奈良県ドクターヘリの駐機する南奈良総合医療センターが立地

計画地の立地状況



交通アクセスの状況



医療施設の状況



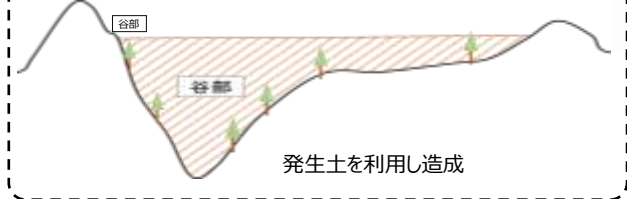
リニア中央新幹線の発生土を活用(大規模広域防災拠点)

五條市の大規模広域防災拠点の整備が本格化してきました。Ⅱ期工事までの用地取得が確実にになりました。Ⅲ期整備に向けて2,000m級滑走路の早期設置を目指します。

Ⅲ期:2,000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点

大規模広域防災拠点の整備に発生土を活用

《造成イメージ》



Ⅰ期:5haの平場を有する広域防災拠点



Ⅱ期:600m級滑走路を有する大規模広域防災拠点(約46ha)



◆概算事業費

Ⅰ期・Ⅱ期	約240億円
Ⅰ期～Ⅲ期計	約720億円

土砂運搬ルート全体図



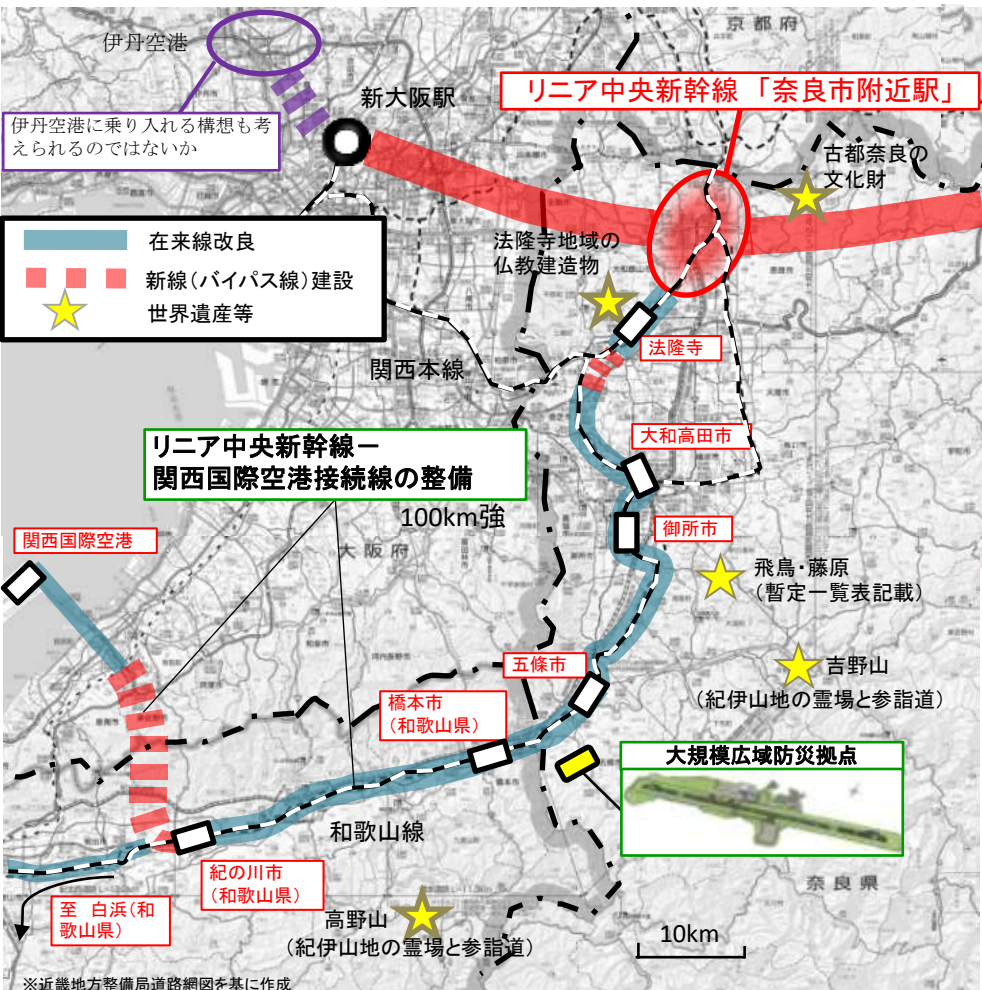
貨物駅のイメージ図



リニア中央新幹線-関西国際空港接続線の整備の検討 リニア中央新幹線の伊丹空港乗入れの提案



在来線活性化や事業費低減等の観点から、**できる限り在来線を活用します。**
 関西国際空港や伊丹空港からの**インバウンド観光客**や関東・中部地域からの**リニア利用者**を、本県の**世界遺産等に連続的に取り込む**とともに、リニア中央新幹線と近畿南部の観光地を結ぶ、より広域な観光ルートを形成します。



○在来線改良と新線建設の組み合わせ方式で検討を想定

○法隆寺駅付近～畠田駅付近等については、新線(バイパス)を検討

整備費:1,900億円程度(全路線長100 km強)

※整備新幹線や過去の在来線改良事例を基に試算。車両調達費等は含まない。



地域道路の整備

地域道路の整備状況

国道369号 香酔峠工区

至 名阪国道計インター



登坂車線[平成30年3月 整備完了]

【整備中】



線形改良区間[令和4年度 完成供用予定]

一般県道 宇太三茶屋線 下片岡～白鳥居工区

至 桜井市



【整備前(橋梁架設前)】



【整備中(橋梁架設完了)】



下片岡～白鳥居工区[令和4年度 一部供用予定]

南部・東部地域振興とまちづくり

南部・東部の都づくり



「奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例」(令和4年3月制定)に基づき、市町村と協働して南部・東部地域振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進しています。

南部・東部地域振興のための基本的施策

産業の振興及び雇用の創出

住民の福祉の向上及び生活の安定

防災・減災対策の推進

魅力ある地域づくりの推進

デジタル社会の形成の推進

条例の基本理念

県、南部・東部市町村及び関係市町村、県民並びに関係事業者が適切な役割分担並びに相互の連携及び協力の下、基本的な施策を定め、**拠点の形成、拠点間の結節の確保**並びに必要な**人材の育成及び確保**に取り組む。

条例のねらい

- 南部・東部地域の振興に関する施策を**市町村と協働**して総合的かつ計画的に推進するための「条例」を制定することにより、施策実施の**継続性を担保**するとともに、まちづくり・むらづくりの方向性を明確にする。
- 南部・東部地域が果たしてきた**役割を再認識**し、持続可能な地域社会の形成を**県民共通の目標とする**。



拠点の形成及び結節・人材の育成及び確保



人が集まる**拠点の形成及び結節**、地域を支える**人材の育成・確保**に引き続き取り組み、**持続可能な地域社会の形成**に向け、これまでの取り組みをさらに進めます。



南部・東部地域の拠点と結節



南部・東部のデジタル化推進

南部・東部地域は、急速な少子高齢化や若年層の流出により、多くの解決すべき諸課題を抱えており、**デジタル化による課題解決の効果が特に大きい**地域だと考えています。県全体の地域デジタル化を進めるためにも、本地域において、住民に寄り添ったデジタル化を着実に進めることが重要です。

■ 「奈良デジタル戦略」を策定しました。（令和4年3月）

- ・ **住民目線に立ったデジタルによる「できる化」を基本目標**とし、それを実現する**デジタル原則や重点領域・プロジェクト・体制**を定めました。

もっとよくなるための「できる化」が進行中です。

行政サービスの刷新

- すべての行政手続が手元のスマートフォンで完結できる**「奈良スーパーアプリ」**の設計に着手しています。今年度中に設計を完了し、来年度からサービスを開始します。



困りごとを抱える人や地域の支援

- **南部・東部地域の生活改善のために、デジタル・サービスを重点的に展開します。**
 - ・ デジタルサービス導入に向けて、「**奈良県美しい南部・東部地域を県と市町村が協働して振興を図る条例**」に基づき、**協議の場を設置**し、市町村と連携しながら、地域のデジタル化を具体化していきます。
 - ・ 南部・東部地域を含む県内市町村からの提案を踏まえ、**自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの導入**に向け、協議会を設立し、検討を開始します。
〔対象市町村：五條市、宇陀市、三郷町、田原本町、明日香村〕

中小企業者等の支援

- **金融機関と連携し、経理の電子化など、デジタルを活用した経営改善に取り組む中小事業者や自治会等を支援**します。11月中に、事業をスタートしていきます。

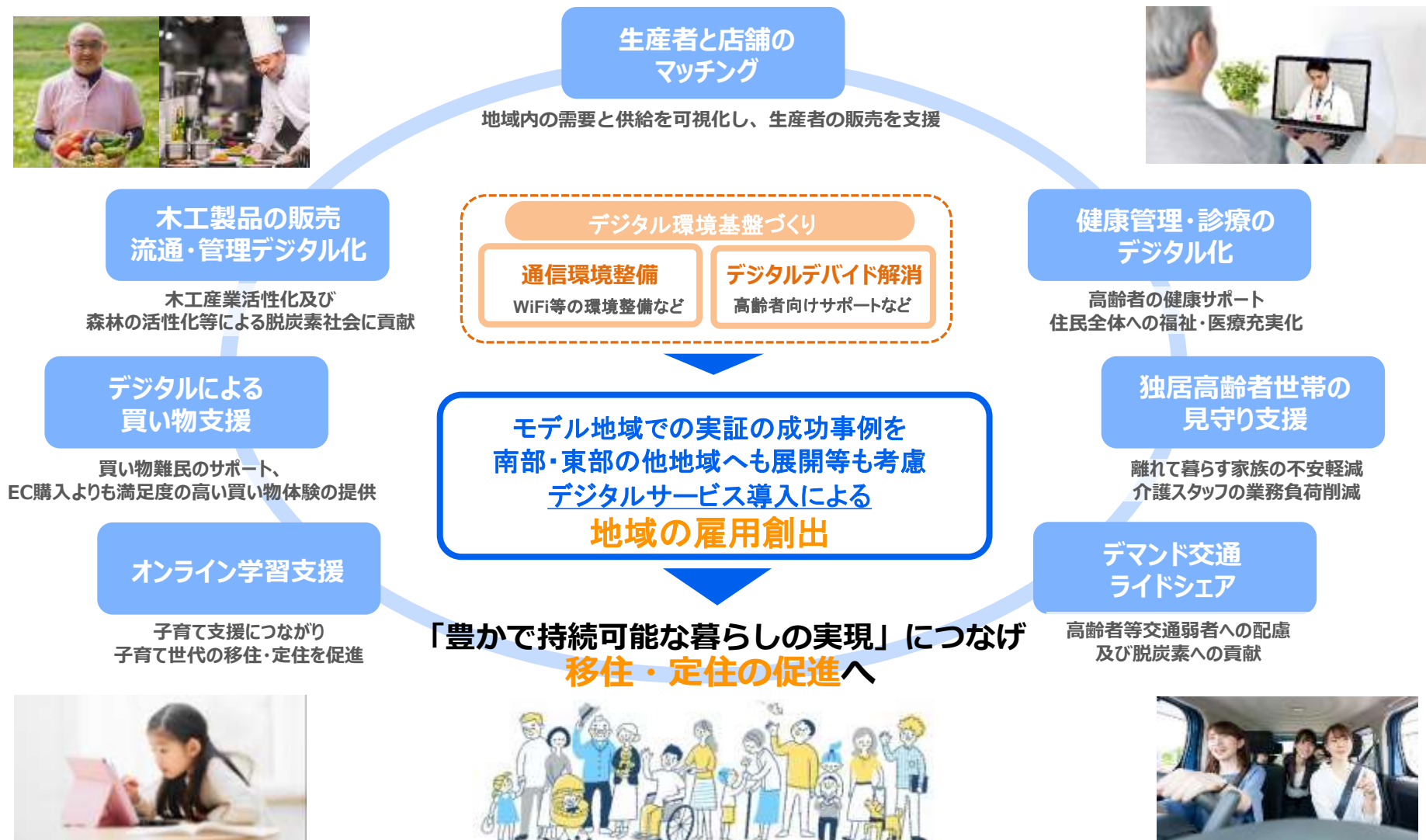
デジタルデバインド対策

- 誰もがデジタル技術を活用できるよう、「**誰一人取り残さない**」デジタル化を推進します。
 - ・ 市町村が行う**デジタルデバインド解消**のための取組を支援します。
 - ・ 高齢者等をサポートするスマホ講座を開催します。

地域におけるデジタル社会の「ビジョン」を検討し、そのための原則や重点施策等を盛り込んだ条例を年度内に策定し、デジタルによる「できる化」を更に進めていきます。

展開イメージ

- 住民の「豊かで持続可能な暮らしの実現」につながるデジタルサービスの導入に向けた実証実験
- 地域内における雇用の創出につながるデジタル化により、移住・定住の促進にまでつなげる



開催地域のまちづくり連携協定

宇陀市 近鉄榛原駅周辺地区

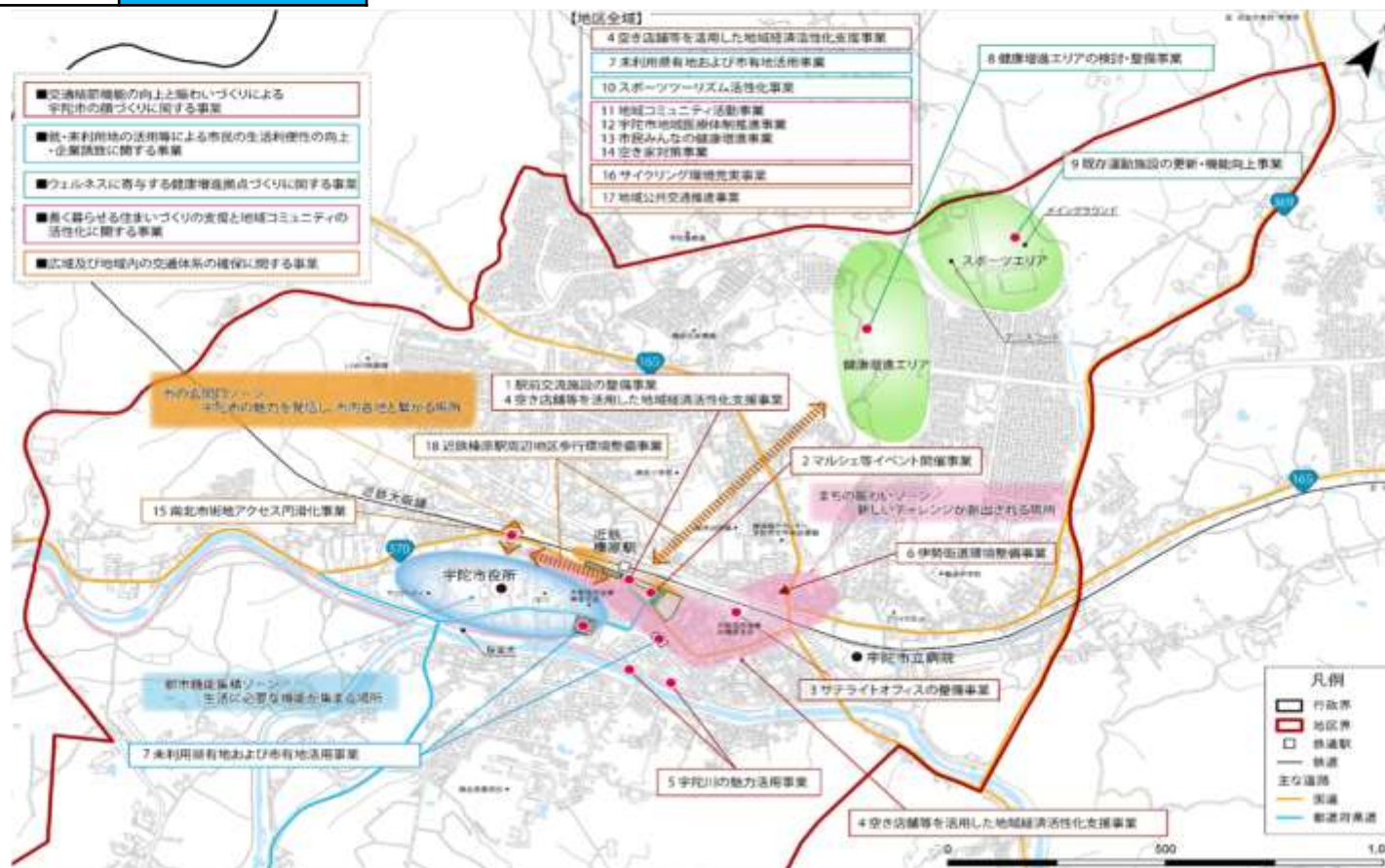
＜コンセプト＞

大和高原への玄関口、宇陀はいばら。
奈良県東部の玄関口として、にぎわいと交流を生みだすまちづくりをすすめます。

＜イメージ図＞

＜基本構想図＞

＜検討中の基本計画図＞



宇陀市 宇陀松山周辺地区

<コンセプト>

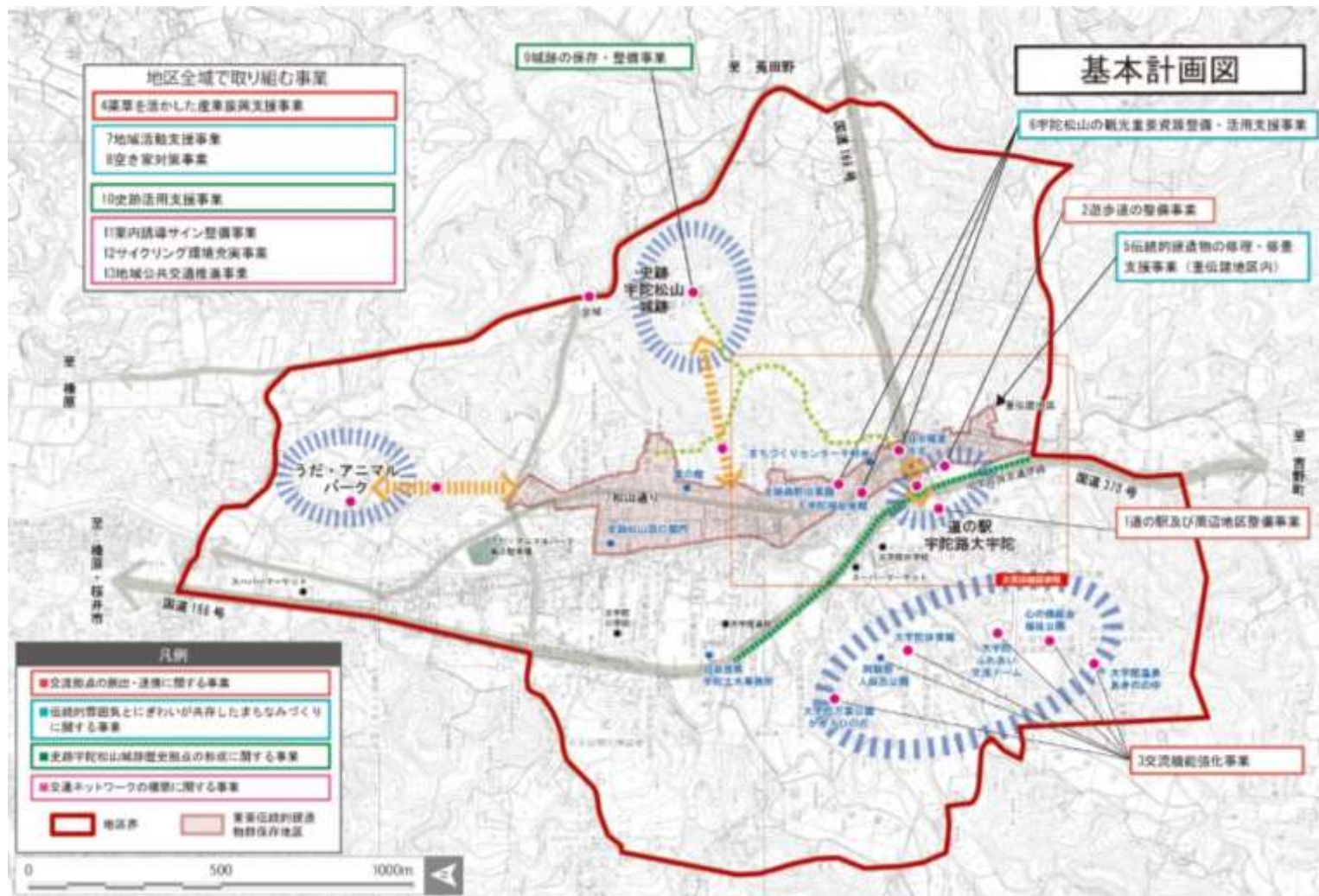
観たい、住みたい、まっちゃま。

歴史と文化を活かし、暮らし続けられる生活環境と次世代への活力を創り出すまちづくりをすすめます。

<イメージ図>

<基本構想図>

<検討中の基本計画図>



宇陀市 うたの古市場周辺地区

<コンセプト>

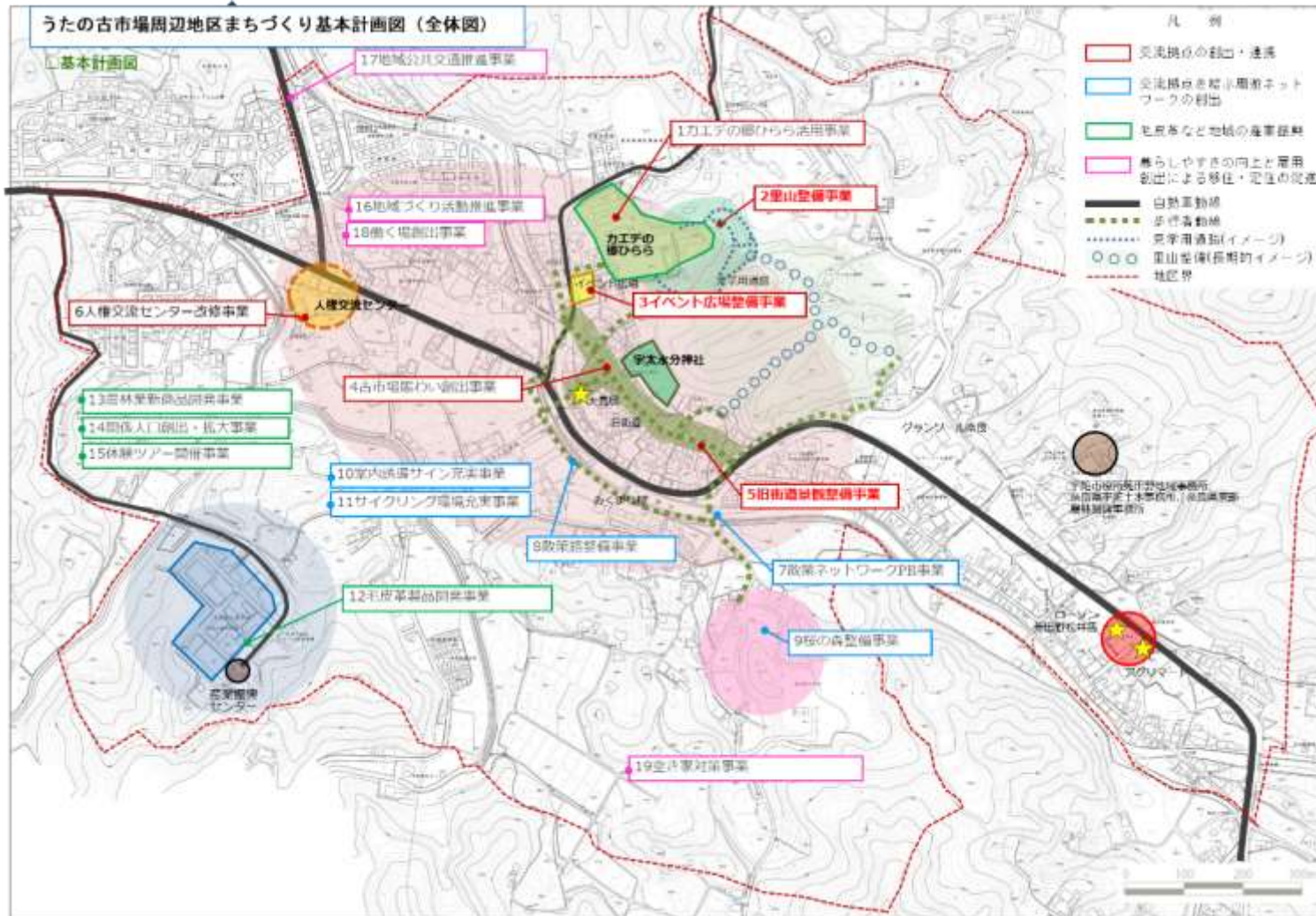
悠久の郷“うたの”再発見!!

～誇りある地域資源を見つけ、みんなで磨く賑わいづくり～

<イメージ図>

<基本構想図>

<検討中の基本計画図>



宇陀市 室生寺門前および室生口大野駅周辺地区

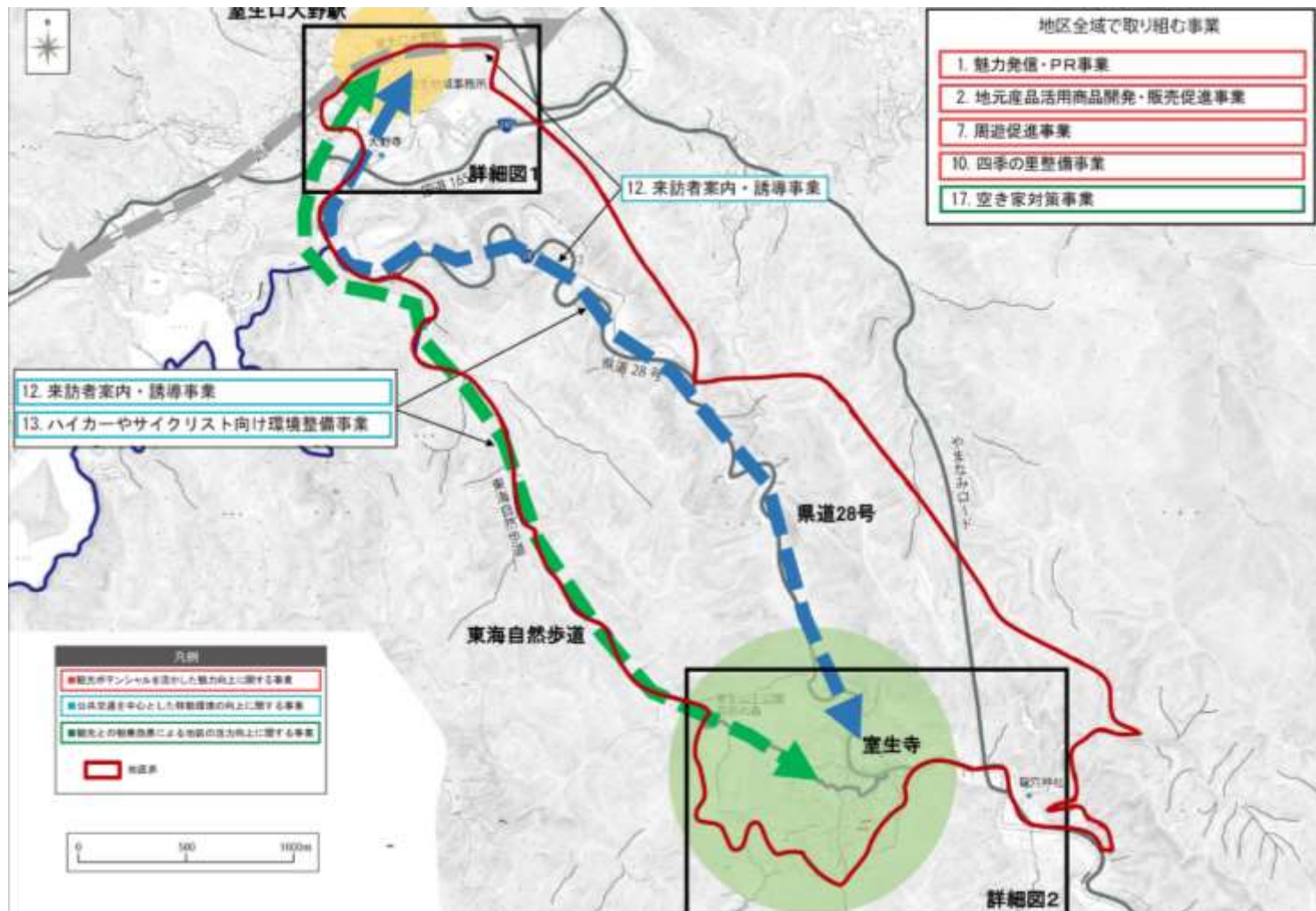
<コンセプト>

女人高野の郷 室生
おもてなしによる観光と交流のまちづくり

<イメージ図>

<基本構想図>

<検討中の基本計画図>



<コンセプト>

～みんなで取り組む～

ツツジと笑顔が咲きほこるまちづくり

<イメージ図>

<基本構想図>

<基本計画図>

西豊地区まちづくり基本構想 -構想図-



山添村 西豊地区まちづくり基本構想

<コンセプト>

～みつえ高原牧場周辺整備と地域資源を活用した魅力あるまちづくり～

<イメージ図>

<基本構想図>

<基本計画図>

まちづくり構想図



地域の観光振興



ガストロノミーツーリズム世界フォーラム

開催概要 (予定)

■会議名

第7回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム

■開催時期

2022年12月12日(月)～15日(木)

■主な会場

奈良県コンベンションセンター(オンライン参加可能)

■参加国・参加者数

50カ国(国内外から約600人)

■主な出席者

- ・各国観光大臣級及び政府関係者、自治体関係者、教育関係者
- ・食、農、観光関連事業者、シェフ、メディア等

■主なプログラム

- ・基調講演、事例発表、パネルディスカッション
- ・エクスカーション(県内視察)・レセプション



第6回UNWTOガストロノミーツーリズム世界フォーラム(ベルギー・ブルージュ)



奈良県コンベンションセンター



7th UNWTO
WORLD FORUM
ON GASTRONOMY
TOURISM

ガストロノミーツーリズム 世界フォーラムとは

食と観光の連携は、地域の伝統や多様性をサポートすると共に、文化の発信、地方経済の発展、持続可能な観光、食の経験を伝達するためのプラットフォームを提供することから、国連世界観光機関(UNWTO)が中心となり2015年以降、世界フォーラムを開催。

過去開催地



スペイン(サンセバスチャン)
【2015・2017・2019】



ペルー(リマ)
【2016】



タイ(バンコク)
【2018】



ベルギー(ブルージュ)
【2021】

奥大和ガストロノミーツーリズム

奥大和地域のポテンシャルと食文化を組み合わせた奥大和ガストロノミーツーリズムで地域を活性化します。

奥大和地域のポテンシャル(温泉、自然、文化、歴史等)から育まれた食を楽しみ、その土地の食文化に触れることを目的とした関係人口創出イベントを実施。地域と協働で準備・開催することで、地域にノウハウを蓄積し、自走できる地域になることを目的とする。

アウトドア+ガストロノミーツーリズム



温泉+ガストロノミーツーリズム



なら四季彩の庭づくり

奈良県を「一つの庭」と見立てた、四季折々の彩りを愉しむ「なら四季彩の庭」づくりを推進します。

奈良県植栽計画の登録、着手エリアが増加してきた結果、美しい植栽景観を楽しめる箇所も増えています。
(県内60エリア)

獣害防護柵の設置
及び補植による
彩りの名所の復活



【宇陀エリア(佛隆寺)】

支障木伐採等による
眺望確保



【山添エリア(県道神野山公園線)】

ススキを楽しめる
視点場整備



【曽爾エリア(曽爾高原)】

植生環境の整備による
半夏生の育成



【御杖エリア(岡田の谷の半夏生園)】

「いまなら。キャンペーン2022プラス」

奈良県では、7月1日から全国を対象に、県内宿泊・旅行を割り引く「いまなら。キャンペーン2022プラス」を実施しています。宿泊利用者には、土産物の購入や飲食等に使用できる「いまなら。地域クーポン」を発行しています。

「全国旅行支援」(10月11日開始)を上回る割引率や地域クーポン額を設定し、県内誘客を促進しています。

【事業概要】

◇**利用期間**：令和4年7月1日(金)～令和5年2月28日(火) (約8ヶ月間)
〔「全国旅行支援」：令和4年10月11日～12月下旬(約2カ月間)〕



◇**制度の概要**：宿泊・旅行代金の50%を割引 (上限5,000円・交通付は上限8,000円)
〔「全国旅行支援」：40%を割引〕

宿泊利用者に、県内の土産物店等 (約1500店舗) で利用可能な「いまなら。地域クーポン」を
平日3,000円・休日2,000円配布 (奈良県民は平日・休日とも3,000円) (※10月21日時点 ※価格帯による)
〔「全国旅行支援」：平日3,000円・休日1,000円〕

◇**対象者**：奈良県および奈良県外在住者
ワクチン3回接種済または検査結果(※)が陰性であること
(※)PCR検査・抗原定量検査は検体採取日より3日以内、抗原定性検査は1日以内のもの

◇**割引対象プラン**：参画施設を利用した宿泊プラン、周遊日帰りプラン

◇**利用方法**：①宿泊施設への申込み (参画宿泊施設は「県新型コロナウイルス感染防止対策施設認証制度」取得)
②旅行会社窓口への申込み
③インターネットサイト(じゃらんnet、楽天トラベル)からの申込み

產業振興

漢方のメッカ推進プロジェクト

県では、奈良に歴史的・文化的なゆかりが深い「漢方」について、本県における医薬品製造企業の集積も活かして**生薬の生産から流通・販売までの産業化**を目指し、「漢方のメッカ推進プロジェクト」に取り組んでいます。



農林水產業振興

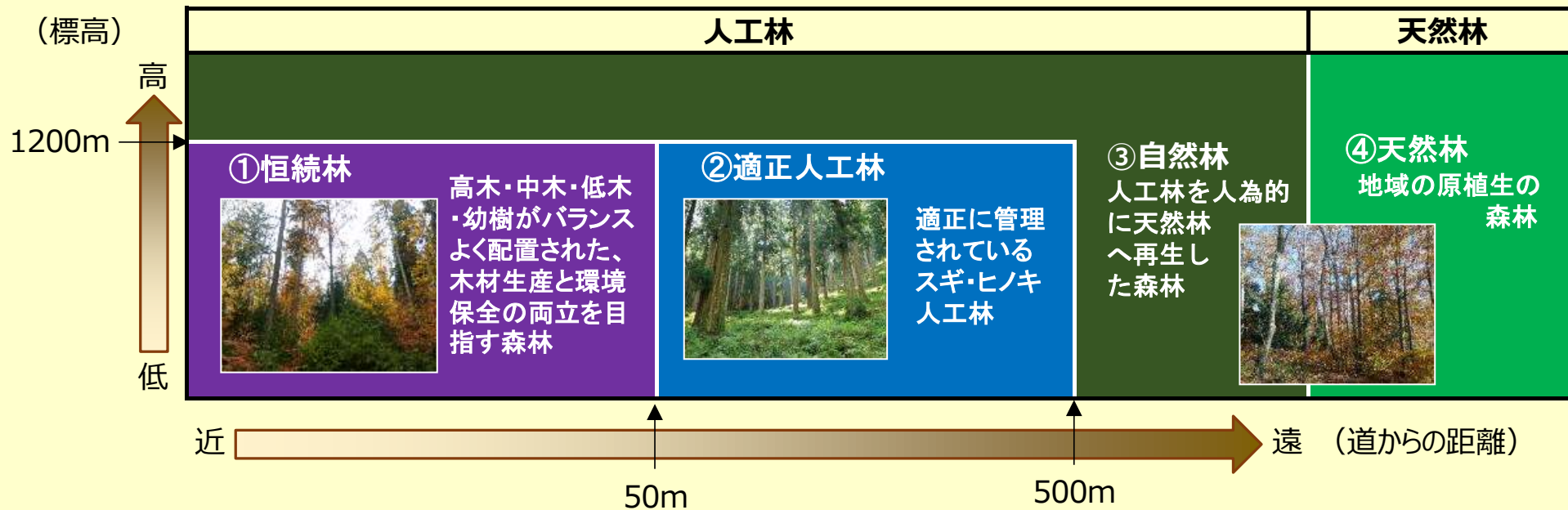
新たな森林環境管理制度の構築



スイスの森林管理を参考に、「**奈良県森林環境の維持向上により森林と人との恒久的な共生を図る条例**」を施行(令和2年4月)しました。

○スイスの森林管理を参考に、森林の4機能(①森林資源生産、②防災、③生物多様性保全、④レクリエーション)を重視した施策を総合的に推進する。

【ゾーニングイメージ】



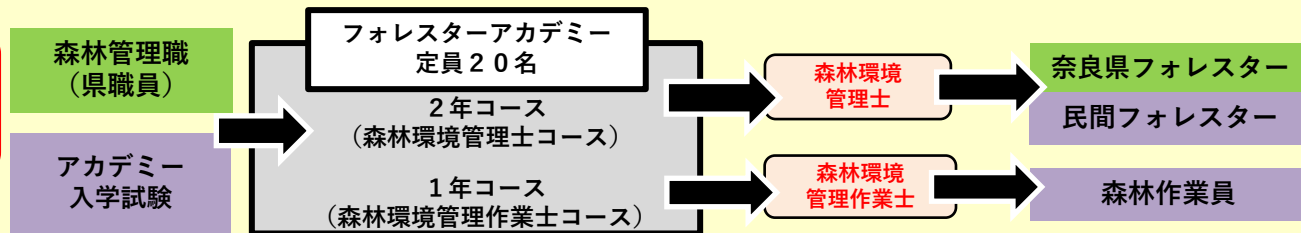
奈良県フォレスター制度と奈良県産材の安定供給・利用促進

昨年4月に開校した奈良県フォレスターアカデミーで、森林管理職(県職員)を2年間実践教育した後、卒業者を「奈良県フォレスター」に任命して、令和5年度より市町村に駐在のうえ森林環境管理の業務に従事させます。

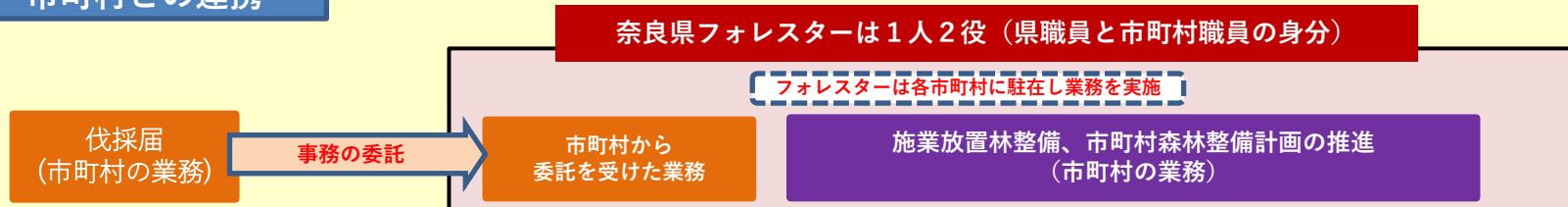
フォレスター制度

人材の養成

森林管理職
の令和4年度の採用
試験には83人
(定員の14倍)が申込



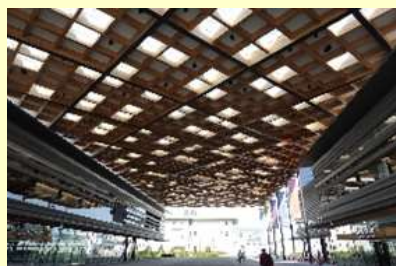
市町村との連携



奈良県産材の安定供給・利用促進



高性能林業機械を使用した森林整備



県産材を使用した施設
(コンベンションセンター 天平広場)



木材加工の効率化に向けた施設整備



展示会での奈良の木PR

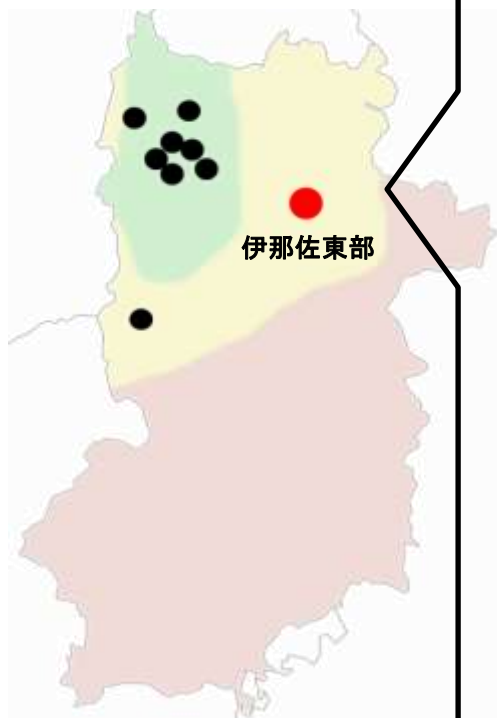
特定農業振興ゾーン・みつえ高原牧場の整備



特定農業振興ゾーンを設定して、**農業振興施策**を推進します。
また、みつえ高原牧場の一部を活用して畜産団地を整備します。

特定農業振興ゾーン

令和2年12月に宇陀市伊那佐東部に特定農業振興ゾーンを設定しました。宇陀市と連携し有機農業の先進地区を目指しています。



伊那佐東部



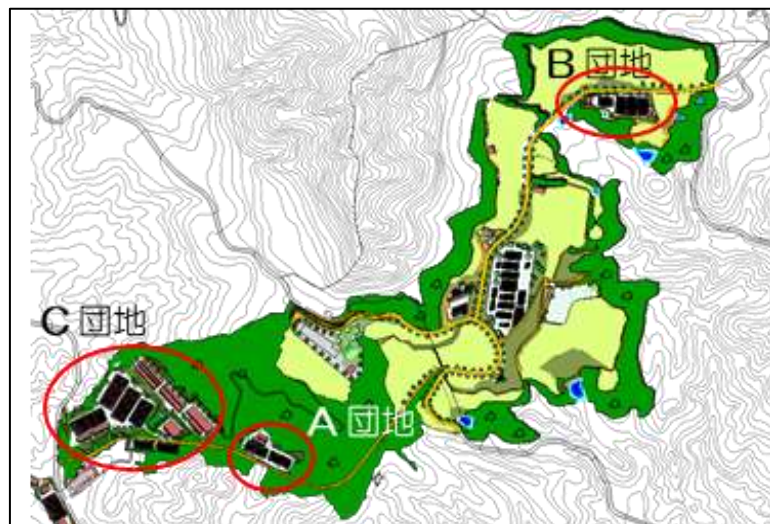
リモコン草刈機実演



大型小売店での有機野菜のPR

みつえ高原牧場

東部振興と畜産振興を図るため、みつえ高原牧場を活用した畜産団地を、令和10年度のオープンを目指し整備しています。



現在のみつえ高原牧場

●はその他の特定農業振興ゾーン

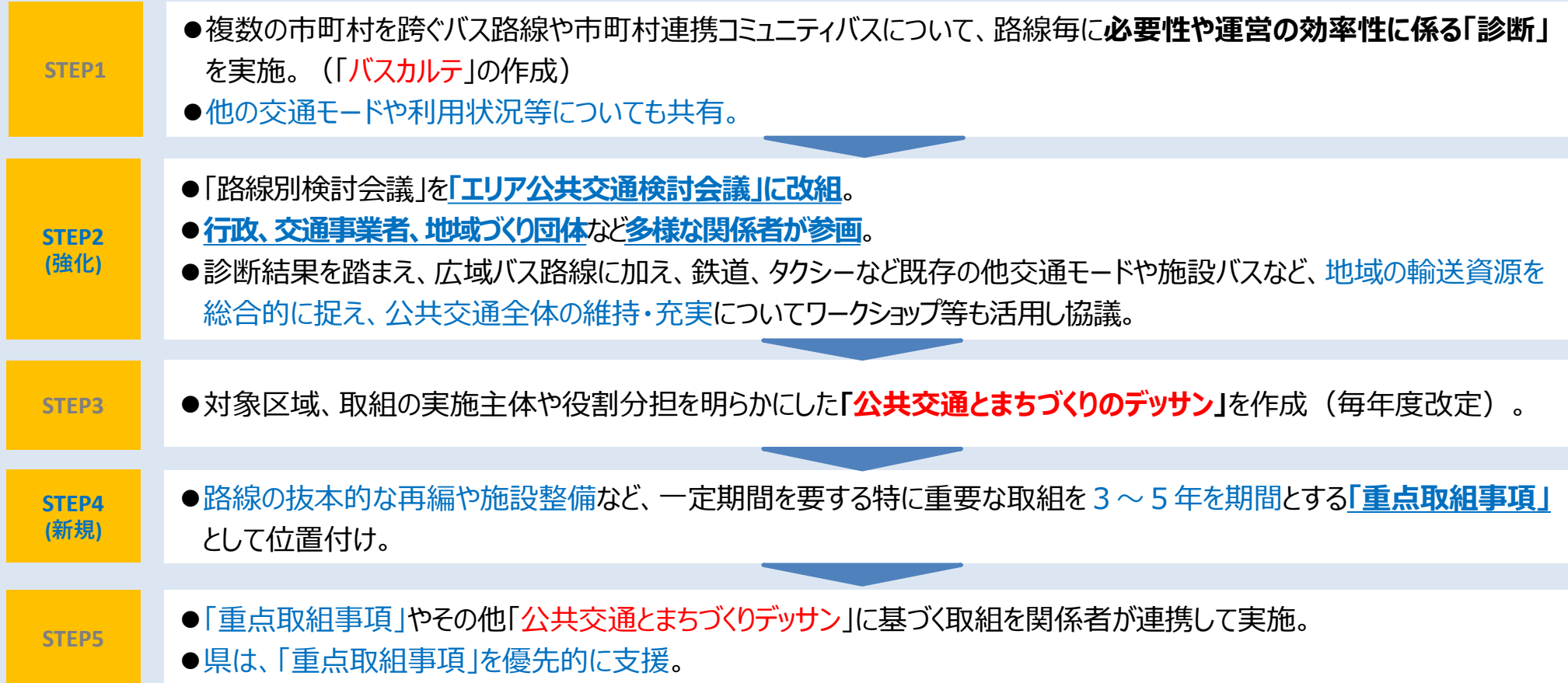
地域交通

奈良県公共交通基本計画の改定



県では、平成28年度に策定した「奈良県公共交通基本計画」に基づく取組みとして、県内の幹線バス系統毎に客観指標を用いた「バスカルテ」による「診断」、地域の関係者間での議論・実践、定期的な検証を実施してきました。本年3月、本計画を改定し、地域公共交通の維持・充実に向けた取組を強化し、引き続き推進しています。

「公共交通とまちづくり等の検討プロセス」



（青字部分は今回の計画改定による強化ポイント）

奈良県公共交通基本計画に関する取組み



多様な地域の輸送資源を総合的に捉えた取組を推進しています。

市町村連携コミュニティバス

南部地域連携コミュニティバス
(大淀町・吉野町・川上村・上北山村・下北山村)



：南部地域連携コミュニティバス(R169ゆうゆうバス)

運営 南部地域公共交通活性化協議会

運行 奈良交通(株)

南部地域公共交通活性化協議会での協議結果に基づきH27.10.1より運行開始(H29.4.1に一部延伸)



南奈良総合医療センター乗り入れ[奈良交通提供]

五條・十津川連携コミュニティバス
(広域通院ライン)



五條バスセンター乗り入れ

観光広域周遊バスの実証運行

地域の商業施設等と連携した利便性向上



「十津川観光特急バス」PRポスター[十津川村提供]



情報提供設備の整備<東吉野村>
(小さな道の駅ひよしのさとマルシェ)

自家用有償旅客運送・無償運送



大宇陀南部ボランティア有償バス
[宇陀市提供]



黒滝ふれあいバス(無償運送)
[黒滝村提供]

医療、地域包括ケア、健康増進

地域医療提供体制の構築

平成29年3月、県内全域を片道15分以内でカバーする**奈良県ドクターヘリの運航**を開始しました。



【ドクターヘリ出動実績】

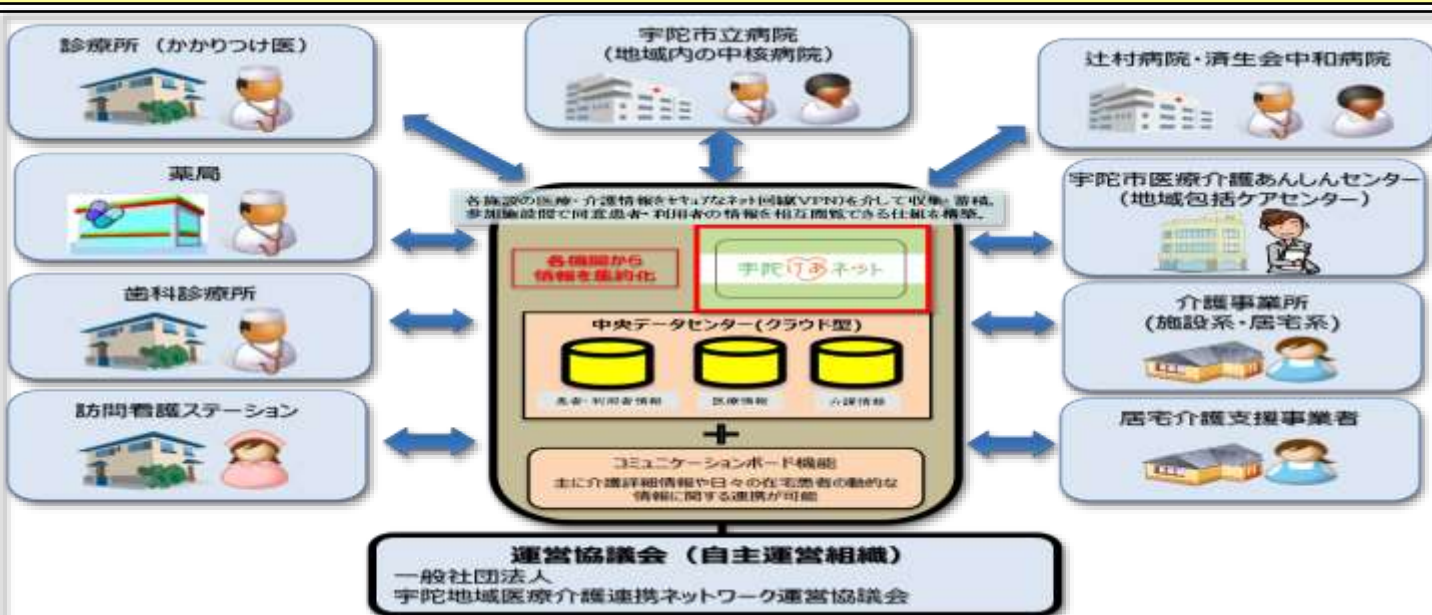
(令和3年度実績)

○件数: **480件** (1日平均**1.3件**)

○地域: **東和医療圏(92件)** 等

ドクターヘリの運航により、一刻を争うけがや急病患者の救命が可能に

宇陀地域医療・介護連携ネットワーク「宇陀けあネット」により医療機関や介護事業所が患者情報を共有し、適切な医療サービスの提供や在宅療養患者の円滑な支援につなげています。



【当初参加目標】

事業所数: **55事業所/132事業所(40%)**

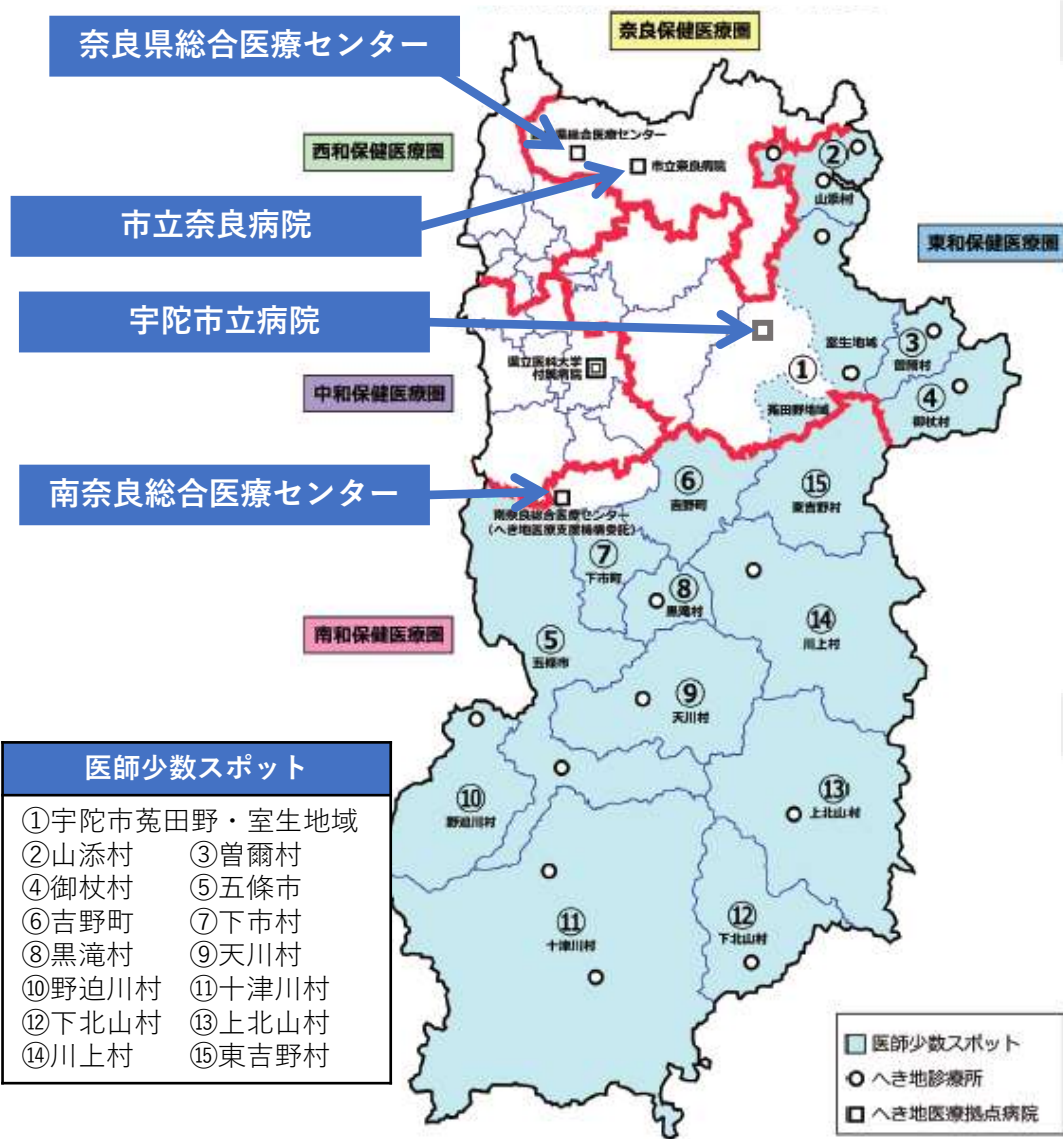
住民数: **8,000人/30,000人(30%)**

【実績(R4.8時点)】

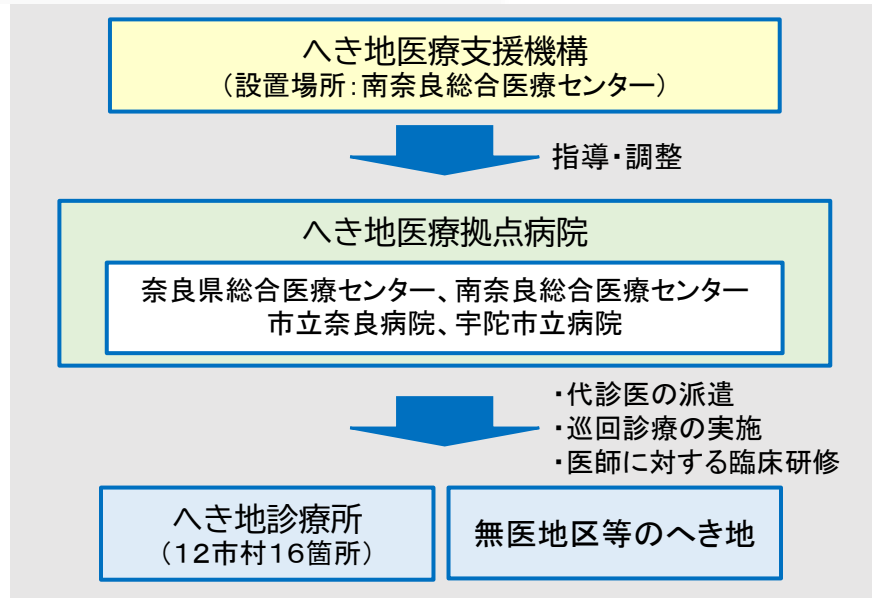
事業所数: **86事業所**

参加申込住民数: **7,361人**

南和保健医療圏や東和保健医療圏において、へき地医療対策を実施しています。



へき地医療支援体制



へき地診療所に対する支援

自治医科大学卒業医師をへき地診療所に派遣
R4年度派遣対象: 五條市、曾爾村、黒滝村、天川村、野迫川村、
十津川村、下北山村、上北山村

へき地診療所に勤務する医師の person 費に対し補助
R4年度補助対象: 山添村、御杖村、十津川村、川上村

へき地巡回診療車の運営に必要な経費を補助
R4年度補助対象: 宇陀市

福祉の奈良モデル

「福祉の奈良モデル」の構築

県では、「福祉の奈良モデル」の考え方に基づく取組を実践するため、令和4年3月に「奈良県人と人及び人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進に関する条例」を制定しました。市町村と協働・連携し、「地域住民の困りごとを把握し、適切な支援につなぐ仕組み」の構築に取り組めます。

基本となる考え方

困っている人を誰一人
排除せず助ける

地域の限られた人的、物的
資源を活用して地域社会
が困っている人を支える

県と市町村が連携して寄り
添い型福祉モデルを構築す
る

奈良県人と人及び人と社会がつながり支え合う地域福祉の推進に関する条例

【主な規定事項】

▶ 県民の抱える困りごとを把握し、適切な支援につなぐ仕組みの構築

- 県民やその世帯が抱える困りごとに関する相談を、丸ごと受け止める仕組み
- 県民やその世帯が抱える多様な困りごとについて、さまざまな関係機関が連携し、解決に向けた適切な支援を検討する仕組み
- 複雑でさまざまな困りごとを抱えている県民やその世帯に対し、支援を届けるために関わり続ける仕組み
- 地域における県民同士の交流を促進し、地域社会の活性化につなげる仕組み

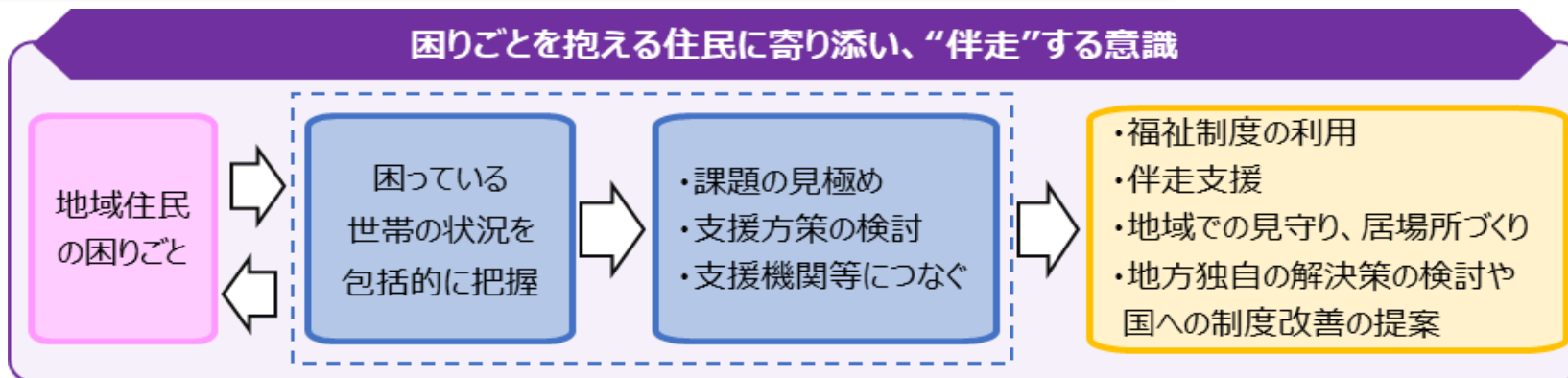
▶ 地域福祉を推進する人材の育成・確保等

▶ 市町村と県が協働で仕組みを構築

- 取組を進めるにあたり、市町村と県が協定を締結することができる
(※令和4年10月18日に3市町(葛城市、宇陀市、田原本町)と協定を締結)
- 市町村が実施する施策について、協定に基づき助言、財政支援等を実施する

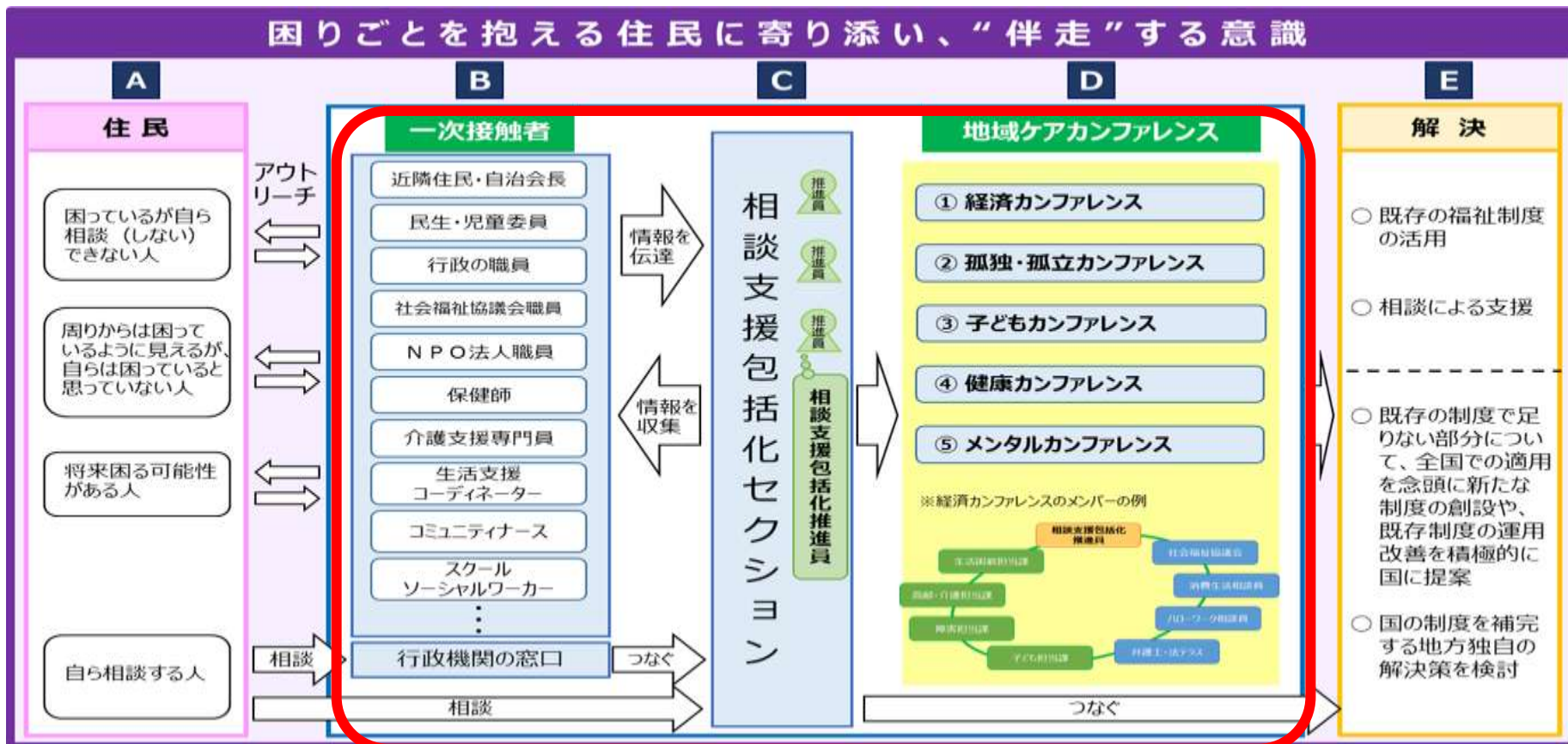
困りごとの把握から適切な支援へつなぐ仕組みのイメージ図

困りごとを抱える住民に寄り添い、“伴走”する意識



「地域住民の困りごとを把握し、適切な支援につなぐ仕組み」の基本となる構造の具体的なイメージ図

困りごとを抱える住民に寄り添い、“伴走”する意識



出所者の更生・就労支援

令和2年4月に「奈良県更生支援の推進に関する条例」を施行しました。
令和2年7月に「一般財団法人かがやきホーム」を設立(全国初の取組)し、これまで4名の
出所者を雇用し、令和4年度も4名雇用する予定です。全国的にも注目されています。

奈良県更生支援の推進に関する条例

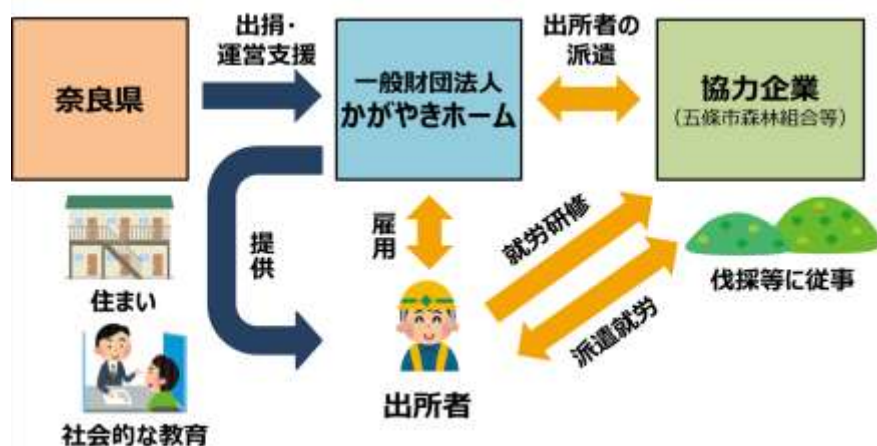
【目的】

- ・国の司法行政と地域の福祉を繋ぐ
- ・誰もが地域の一員として包摂される社会の実現

【手法】

- 更生支援に関する施策を一体的かつ効果的に実現するため、「一般財団法人かがやきホーム」を設立して、次の事業を実施
- ・罪に問われた者等を雇用、就労の場を提供
 - ・住居を貸与
 - ・職業訓練、社会的な教育の実施

更生支援の取組をさらに拡大し、充実させるため、「一般財団法人かがやきホーム」において、新たな就労の場の開拓等を行います。



五條市森林組合における就労研修(林業研修)

ご清聴ありがとうございました。

